

自民党 文部科学部会 高専教育の飛躍的充実に向け要望



松本大臣(中央⑤)に要望書を手交する深澤文部科学部会長(同④)ら

その前日6月11日には、自由民主党の文部科学部会が松本洋平文部科学大臣と面会し、高専の機能強化に向けた支援の強化を求めた。

同部会は、高度専門人材の育成、創造性をはぐくむ場としての高専の役割は、日本の将来にとって重要であると強調。▽成長戦略の実現に向けた人材確保に貢献する高専教育の展開▽高専教育の新展開に向けた支援の強化▽グローバルな視野で活躍する技術者の育成、海外展開の3つを柱として、補正予算ではなく当初予算における財政措置への転換や公立高専の設置促進、国立高専の基盤と機能強化、工学以外の領域(農学やコンテンツ等)への拡大、高専本科卒業生への「学位」授与に向けた検討などを要望した。また、文部科学大臣のリーダーシップの下、高専の機能強化に向けた「政策パッケージ」のとりまとめにも期待を示した。

面会後にはぶら下がり取材も行われ、鈴木英敬衆議院議員は「今回最も強調していることは、補正予算頼みから当初予算における財政措置への転換と、高専についての文科省としての政策パッケージの作成である。大臣からは、近日中に学位授与の部分も含めて発表したいとの発言があった」と述べた。

なお、学校DXの推進やAI時代における人材育成の強化に関しても要望が行われ、「初等中等教育段階における生成AIガイドライン」の速やかな改訂や「デジタルな形態を含む新たな教科書」の導入に向けた検討なども求めた。

卒業生への「学位」授与など

高専の機能強化へ有識者会議で検討開始

文部科学省は6月12日、「高等専門学校機能強化パッケージ(仮称)」の方向性を公表した。今後、有識者会議を設置し、必要な施策について議論を開始する。

生成AIの出現・急速な発展等により社会と産業構造に変革が見込まれる中、高度専門人材の確保が極めて重要となっている。実践的・創造的技術者を5年一貫で育成する高専には社会的期待が寄せられる一方で、急速な産業構造変化に対応・けん引する人材を育成・輩出していくため、その在り方を見直し、より一層高度化することが求められている。文科省は、日本のさらなる発展や個人の適性や関心に応じた学びの環境の確保に向けて、政策パッケージをとりまとめ、高専の機能強化を図りたい考えだ。

政策パッケージにおける改革の方向性では、①高専の「量的拡大」②高専教育の「質的向上」③高専卒業生の「国際通用性確保」――の3つの柱が示された。今後、有識者会議において、公私立高専の新設促進、国立高等専門学校機構運営費交付金等の抜本的な拡充、高専本科卒業生に対する「学位」の授与などについて検討するとしている。

松本洋平文部科学大臣は6月12日の閣議後会見で、「高専の機能強化策を取りまとめるべく、具体的な検討を開始することとし、政策パッケージの方向性を提示させていただいた。今月中に有識者会議を設置し、高専生が社会で一層活躍できるよう、高専の機能強化に向けた具体的策について議論を深めていきたい」と述べた。

また、「高専は、日本の経済発展、科学技術の進歩による技術者不足に対応をするために、中堅技術者を要請する学校として設立され、そして今日に至っている。社会や産業構造の急速な変化や少子化の進展を背景として子供たちの関心を5年間にわたって一貫して伸ばし、高度な技術者や専門人材を要請する高専への期待はますます高まっている。文部科学省としては、量的な拡大、質的向上、国際通用性の確保の観点から、高専の高度化を図る必要があるという風に認識をしている。今月中に有識者会議を設置して速やかに議論を開始するわけだが、今後のスケジュールについては、年内を目途として政策パッケージについて一定の取りまとめを行いたい」として、パッケージの取りまとめに意欲を示した。